

⑳ を破壊したのち、新しい首都リマを建設した。㉑
 制[先住民の保護とキリスト教化を条件として、先住民とその土地に対する支配が
 スペイン人植民者に委託される制度。その後、㉒ (大農園) 制に移行した]
 が導入されたスペインの植民地では、聖職者㉓ のように、
 先住民の救済につとめた人物も一部には存在したが、多くの場合、抵抗を続ける先
 住民を植民者が労働力として酷使した。またヨーロッパから伝染病がもたらされた
 結果、先住民の人口は激減した。

2. 内容をまとめよう。

② アメリカ大陸の征服

(1) スペインのアメリカ進出

- a 女王(13)…ジェノヴァの船乗り(14)を「インド」に向けて派遣(1492)
- b (14)…天文学者(15)の説を信じ、大西洋を西に向かう
→バハマ諸島の(16)島に到着、先住民を(17)と呼ぶ

(2) アメリカ探検の進展

- a イタリア人(18)父子…英王の支援で北アメリカ探検(1497, 98)
- b ポルトガル人(19)…ブラジルに漂着、ポルトガル領とする(1500)
- c スペイン人(20)…(21)を横断、太平洋岸に到達(1513)
- d イタリア出身の(22)…南アメリカを探検、ヨーロッパ人にとっての「新大陸」であることを確認→彼の名にちなんで「アメリカ」と命名

(3) マゼランの世界周航(1519～22)

- a ポルトガル人マゼラン(マガリャンイス)
…モルッカ諸島をめざして西まわりの大航海に出発
→南アメリカ南端の(23)を経て太平洋を横断
- b マゼラン…(24)で死亡、船団の一隻が世界周航達成→大地球形を証明

(4) スペインが送りこんだ「征服者」(25)

- a スペイン王室…アメリカ大陸に軍隊をおくり、先住民の諸国家を征服
- b (26)…(27)王国を破り、メキシコを征服(1521)
- c (28)…(29)帝国を滅ぼし(1533)、首都クスコを破壊
→新首都リマを建設
- d スペイン植民地…(30)制を導入、先住民を労働力として酷使
→聖職者(31)のように先住民救済につとめた人物も一部には存在
- e ヨーロッパから(32)がもたらされ、先住民の人口激減

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

□ 商業革命と価格革命 (教科書 P.204)

1. 空欄を埋めながら教科書を読んでみよう。

商業革命と価格革命

大航海時代の到来とともに、世界の① が始
 まった。ヨーロッパ商業は世界的広がりをもつようにな
 り、商品の種類・取引額が拡大し、ヨーロッパにおける遠隔地貿易の中心は地中海
 から大西洋にのぞむ国々へ移動した(②)。世界商業圏の形成は、

広大な海外市場を開くことで、すでにめばえはじめていた③_____経済の発達をうながした。また、1545年に発見された④_____銀山など、ラテンアメリカ[アメリカ大陸で、スペイン・ポルトガル系の言語・文化が広まったメキシコ以南の地域を総称してラテンアメリカと呼ぶ]の銀山から大量の銀が流入し、ヨーロッパの物価は2～3倍に上昇した。この物価騰貴は⑤_____と呼ばれ、固定地代の収入で生活する領主は打撃をうけた[メキシコ銀などと呼ばれたラテンアメリカの銀は、アジアにもたらされ、アジアの経済にも大きな影響を与えた]。

商業革命により、西欧諸国は商工業が活発な経済的先進地域となった。他方、⑥_____川以東の東ヨーロッパ地域は、それに対応する役割を担うようになっていき、西欧諸国への穀物輸出が増加した。この地域では、領主が輸出用穀物を生産するために直営地経営をおこなう農場領主制(⑦_____)(⑦_____が広まり、農奴に対する支配が、近世にはいるとかえって強化された[こうした農奴制がふたたび強化された状況は⑧_____農奴制と呼ばれる]。ヨーロッパにおける東・西間の分業体制の形成は、その後の東欧の動向に大きな影響を与えることになった。

2. 内容をまとめよう。

③ 商業革命と価格革命

(1) 商業革命

- a 大航海時代を機に(33)が始まる→商業の世界的広がり
- b 商業の種類・取引額が拡大、ヨーロッパの遠隔地貿易の中心が(34)から(35)にのぞむ国へ移動…商業革命
- c 世界商業圏の形成は広大な海外市場を開き、(36)経済の発達をうながす

(2) 価格革命

- a (37)銀山などラテンアメリカの銀山から大量の銀が流入
→ヨーロッパの物価が2～3倍に上昇…価格革命
- b (38)の収入で生活する領主に打撃
- c (39)はアジアにももたらされ、アジア経済に大きな影響

(3) 東ヨーロッパへの影響

- a 東ヨーロッパ地域は西欧諸国への(40)輸出が増加
- b 領主が輸出用(40)を生産するために直営地経営をおこなう(41)制(グーツヘルシャフト)が広まる→農奴制がふたたび強化…再版農奴制
- c ヨーロッパにおける東・西間の分業体制→東欧の発展に大きな影響

第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 2 ルネサンス

□ルネサンスの本質 (教科書 P.205)

1. 空欄を埋めながら教科書を読んでみよう。

ルネサンスの本質

中世末期の西ヨーロッパでは都市が発展し、そこから中世の文化を引き継ぎながら、人間性の自由・解放を求め、各人の個性を尊重しようとする文化運動があらわれた。これが①_____

▶「世界史B」の教科書に対応しています。

▶計画的に取り組み、次回登校日に、休校期間中の課題をまとめて地歴準備室前に提出すること。

第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 1 ヨーロッパ世界の拡大

□大航海時代(教科書 P.201)

1. 空欄を埋めながら教科書を読んでみよう。

大航海時代

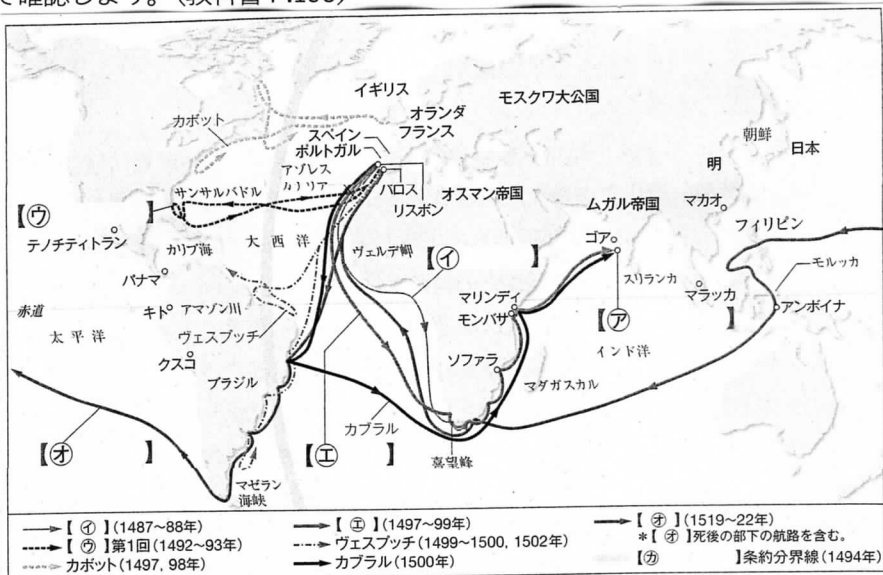
ヨーロッパでは、十字軍以来、マルコ=ポーロの『①.....』(『東方見聞録』)などに刺激されて、豊かなアジアの富や文化に対する関心が強まる一方、羅針盤の改良、快速帆船の普及などで②.....航海が技術的にも可能になってきた。莫大な富をもたらす金やアジアの特産品の③.....は、あらたな財源を求める君主など、多くの人々を引きつけた[西ヨーロッパでは14世紀以来肉食が普及し、胡椒などの③.....の需要が高まったが、その貿易はイタリア諸都市の商人に独占されていた]。さらに、国土回復運動のなかでイスラーム教徒とたたかってきたポルトガルやスペインでは、キリスト教を海外に布教しようとする意欲も強かった。

ポルトガルの商人は15世紀初頭にはアフリカ西岸の探検に乗り出していたが、「航海王子」④.....がこの事業をさらに推進し、⑤.....治世の1488年、⑥.....がアフリカ南端の⑦.....に達した。98年には、⑧.....

がインド西岸の⑨.....に到達し[インド洋はムスリム商人の活動圏で、⑦.....を迂回してアフリカ東岸に出たガマは、そこでアラブ人ムスリムの水先案内人を雇って、インドに到達した]、香辛料を手に入れた。インド航路の開拓は一種の国営事業としておこなわれ、それによって実現した香辛料の直接取引はポルトガルの王室に莫大な利益をもたらし、首都⑩.....は一時世界商業の中心とな

った。

2. 地図で確認しよう。(教科書 P.195)

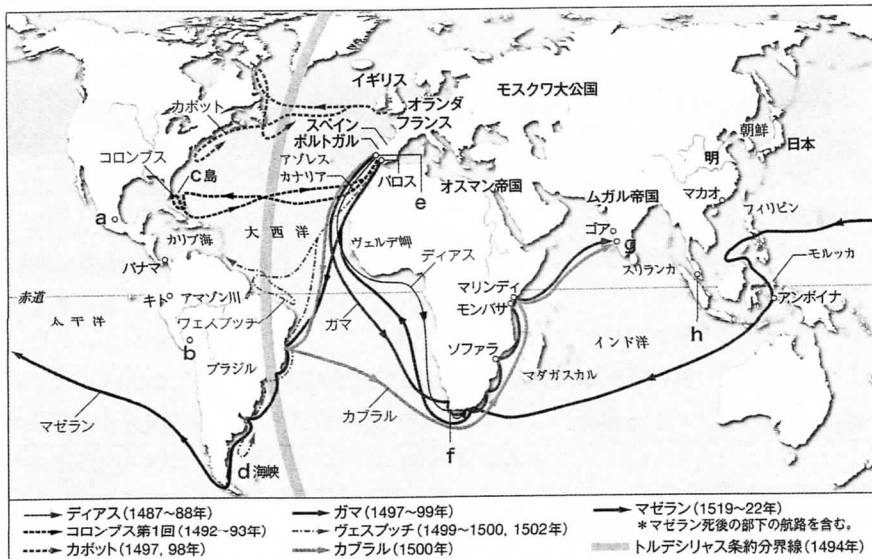


地図 ヨーロッパ人による航海と探検

3. 内容をまとめよう。

① 大航海時代

整理



(1)大航海時代…15~17世紀, ヨーロッパ人が遠くアジアやアメリカ大陸への航海に乗り出し, 世界の一体化が始まった時代

(2)大航海時代の背景

a アジアの富や文化に対する関心の強まり

…十字軍, (1)の『世界の記述』(『東方見聞録』)などの影響

b 遠洋航海の技術…(2)の改良, 快速(3)の普及など

c 金やアジアの(4)…財源を求める君主など, 多くの人々を引きつける

4	d ポルトガル・スペイン…(5)運動でイスラーム教徒と戦う
5	→(6)教の海外布教に強い意欲
6	(3)ポルトガルの進出…インド航路開拓を一種の国営事業としておこなう
7	a 15世紀初頭、アフリカ西岸の探検に乗り出す→「航海王子」(7)が推進
8	b (8)…(9)の治世にアフリカ南端の喜望峰に到達(1488)
9	c (10)…インド西岸の(11)に到達(1498)
10	d (4)の直接取引は王室に莫大な利益
11	→首都(12)は一時世界商業の中心となる
12	

□アメリカ大陸の征服 (教科書 P.202)

1. 空欄を埋めながら教科書を読んでみよう。

アメリカ大陸の征服

アジアへの進出でポルトガルにおくれたスペインでは、1492年に女王①が、②生まれの船乗り③の船団を「インド」[当時、西ヨーロッパの人々は、東アジア・東南アジア・南アジアを含むアジア大陸東半の地域を漠然と「インド」(スペイン語では「インディアス」と呼んでいた)に向けて派遣した。③は、大地は球形で、大西洋を西に向かってすすむほうが「インド」への近道であるとする、フィレンツェの天文学者④の説を信じ、大西洋を横断してバハマ諸島の⑤島に到着した。彼はその後、今日のアメリカ大陸にも上陸したが、これらの土地を「インド」の一部だと思いこんでいたため、先住民を⑥と呼んだ。

1500年にはポルトガル人⑦が⑧に漂着し、この地をポルトガル領とした。その後イタリア出身の⑨の南アメリカ探検によって、コロンブス以来探検がすすんだ土地が、アジアとは別の大陸(ヨーロッパ人にとっての「新大陸」)であることが明らかになり、この大陸は彼の名にちなんで「アメリカ」と名づけられた。

また、スペイン王室の命令でポルトガル人⑩は、1519年に香辛料の特産地⑪諸島をめざして西まわりの大航海に出発し、南アメリカ南端の海峡(⑩海峡)を経て太平洋を横切って、⑫に達した(1521年)[スペイン人⑬が1513年に太平洋岸に達していたが、「太平洋(おだやかな海)」の名はマゼランが命名した。その後、フィリピンでは、スペインの植民地化がすすんだ。フィリピンの名は、スペイン国王フェリペ2世にちなむ]。彼自身はそこで死亡したが、彼の船団のうちの1隻がアフリカまわりで翌22年スペインに帰国し、史上最初の⑭を成し遂げて、大地が球形であることを証明した。

アメリカ大陸には先住民による諸国家が形成されていたが、スペイン王室は、「征服者」(⑮)の率いる軍隊をアメリカ大陸におくりこみ、まず⑯が1521年に⑰王国を破ってメキシコを征服した。ついで33年、⑱が⑲帝国を滅ぼし、首都